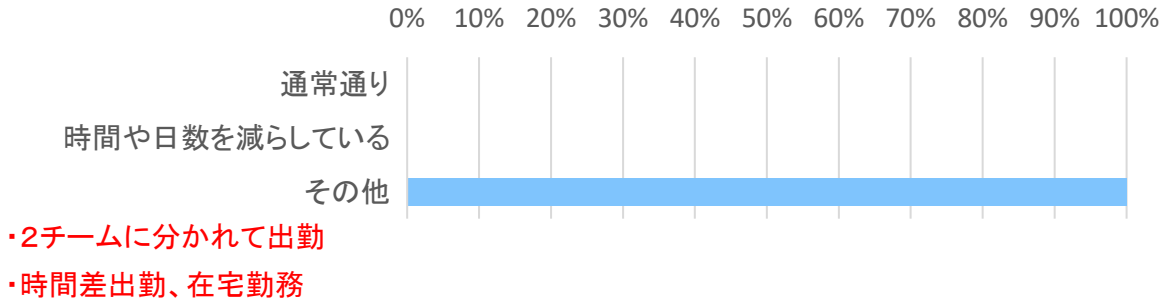


新型コロナウイルス感染症による業務への影響について

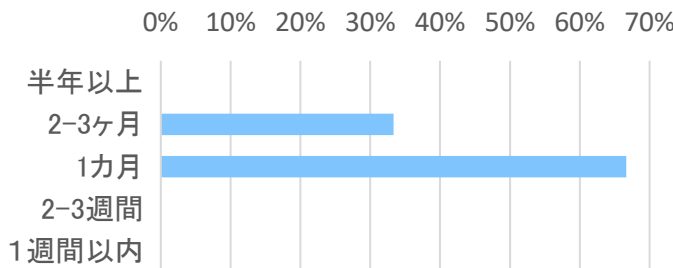
(地域包括支援センター)

■調査日: 令和2年5月上旬
■アンケート回答数
旭区内の各地域包括支援センター職員 3名

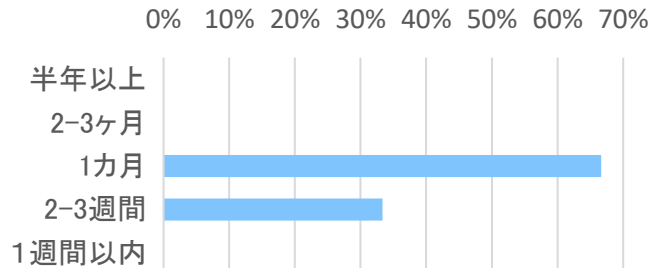
通常通りの業務ができていますか



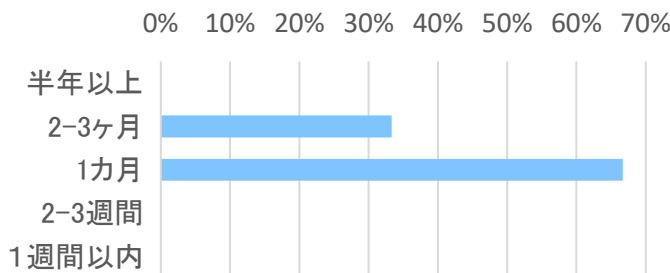
マスクの保有状況(残り)



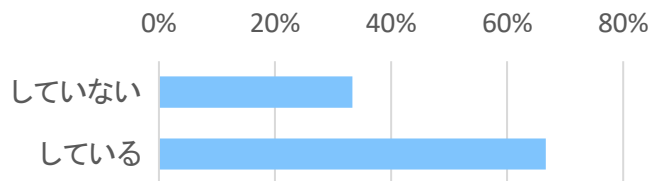
手指消毒用アルコール保有状況(残り)



介護用手袋の保有状況(残り)



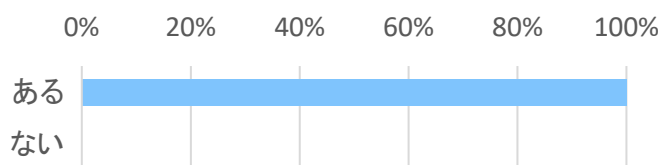
マスクを洗浄・消毒するなどして再利用



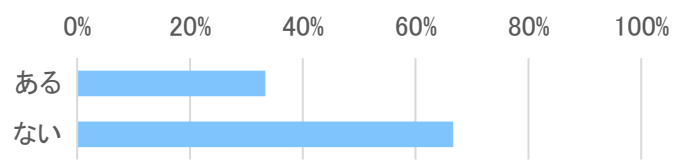
・洗って再利用、もしくは手作りマスクで対応

2月以降、国・自治体・団体等から「マスク」の提供や寄付を受けたことがありますか

(マスク)



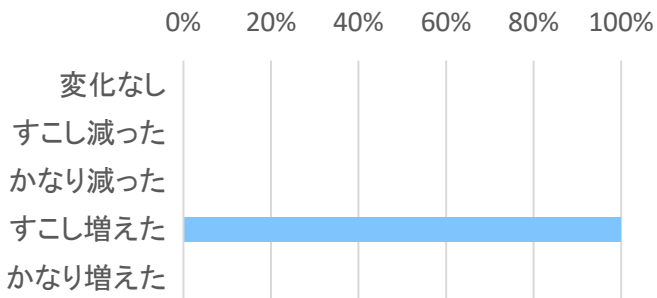
(消毒液)



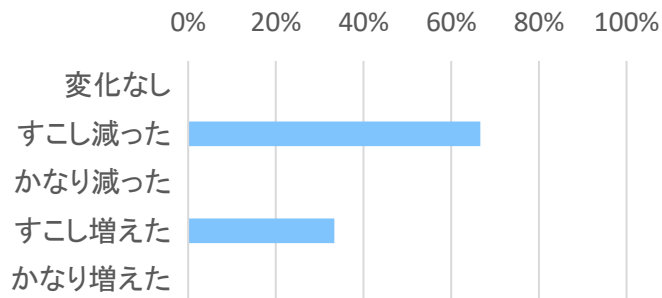
(マスク) ・厚労省/国から(3-4月)

新型コロナウイルス感染症の影響で相談が増えましたか

(ケアマネから)



(区民から)



・コロナウィルスの影響でサービス休止になった際のケアプランの取り扱い方法等についてケアマネからの問い合わせが多い。

・訪問拒否時の取り扱い 通所系サービスの利用拒否

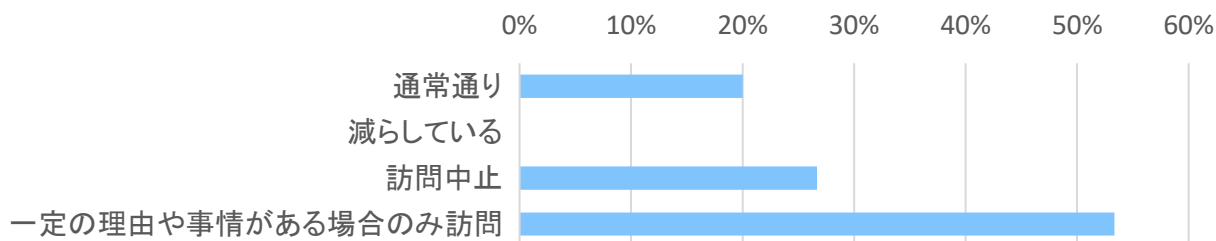
・ケアマネから、

①給付管理(コロナで訪問出来ない、サービス利用しない場合など)

②プラン(コロナで訪問出来ない、認定調査が延長した時)

などの質問が多数ある。

個別訪問についてはどのように対応していますか。対応方法についてもお書きください



・書類送付と電話で対応できれば訪問しない(又は延期)

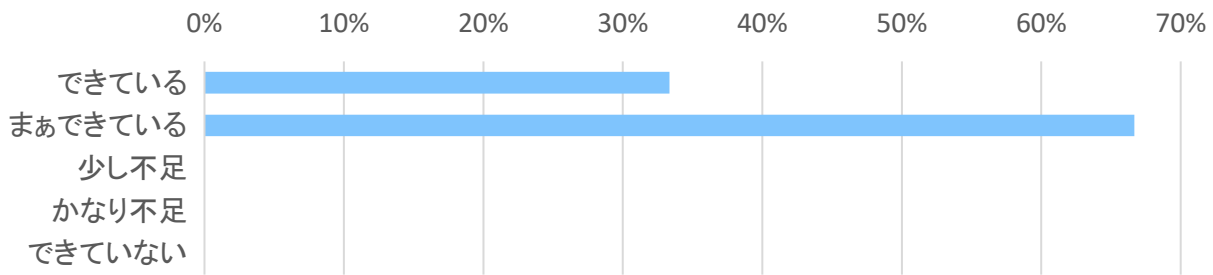
・なるべく電話にて対応

ご利用者に、新型コロナウイルス感染(感染の疑い)がおられる場合、どのように対応されていますか。おられる場合は現在の対応方法を、現在おられない場合は、予定している対応方法をお答えください。

・現在は該当の方はおられないが、訪問実施する場合は、マスク、手袋を着用し、利用者にもマスクを着用して頂く。2方向で換気。かかりつけ医から新型コロナ受診相談センターに相談依頼する

・現在該当者はいないが、疑いの段階で訪問は避けるなど検討をしている

職員が感染した場合の対策はできていますか

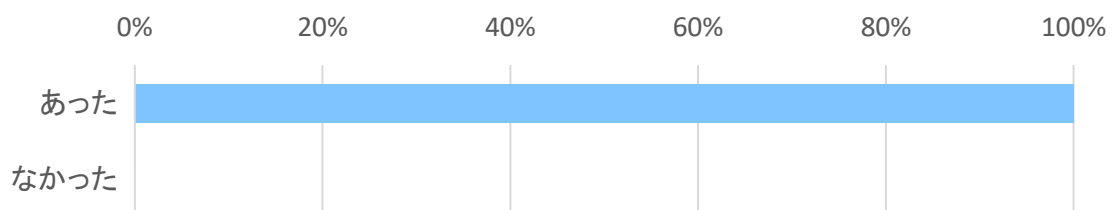


- ・濃厚接触者と判断された段階で自宅待機とし、大阪市福祉局高齢福祉課および区役所保健福祉課に報告
PCR陽性となった場合は、保健所の指示に基づき休職する
- ・2チーム制にてどちらかが出勤できる体制としている
- ・感染者はいないが、マニュアルを作成し、対応できるようにしている

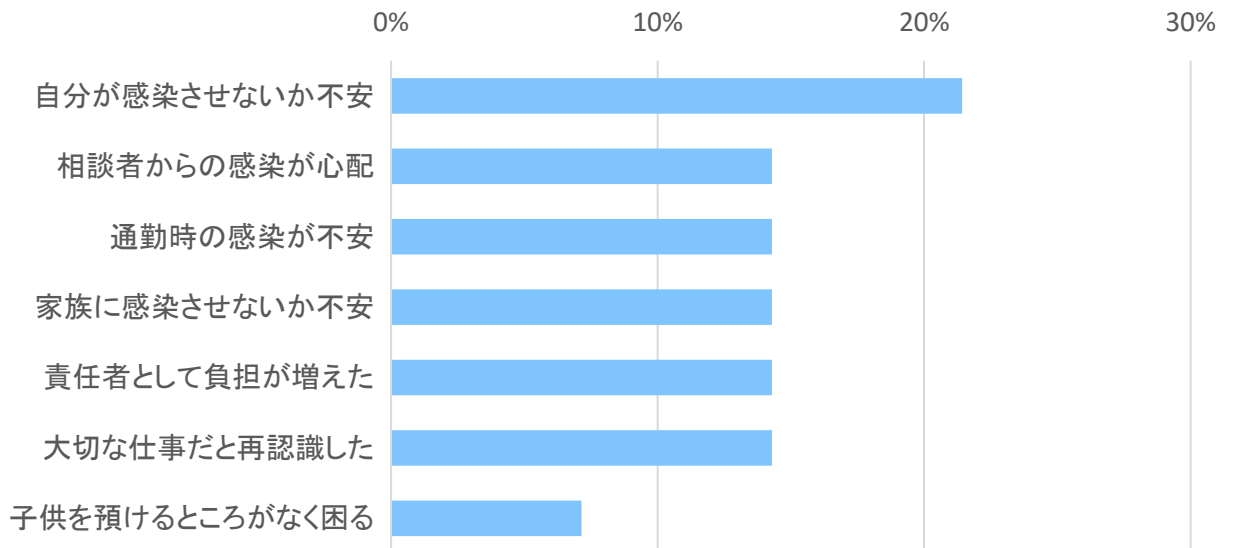
事務所内の3密(密集・密接・密閉)を防ぐ工夫はされていますか？現在の対応をお書きください。

面談室	<ul style="list-style-type: none"> ・透明アクリル板設置の上、2方向で換気 ・換気、机・椅子の間隔をあける。来訪者用手指消毒液を入口に設置。来訪者が帰る度に机、椅子など消毒。職員もその都度手洗い。ビニールついたて設置 ・換気扇を終業時まで稼働。窓を開ける。面談終了後、次亜塩素酸で消毒。食事は1人ずつ
事務室	<ul style="list-style-type: none"> ・入口にアルコール設置し、出勤時、退社時はアルコール消毒。毎朝事務室のアルコール消毒。窓を開放、入口はビニールシートとし、来場者との境を作る。時差出勤、在宅勤務。窓の開放。次亜塩素酸入り空気清浄機を使用 ・2チーム制に班分けし、一方のチームが事務所を使用することで、事務所内の職員数を減らす。対面に座らず、向かって斜めの机を使用 ・1時間毎の消毒。PCは1人1台(終業時消毒)。換気扇稼働

利用者(家族)から新型コロナウイルス感染防止のため、訪問を中止してほしいと言われたことがありますか



新型コロナウイルス感染症をきっかけとした、気持ちや環境の変化がありましたか。(複数選択可)



現在、業務で困っていること、その他意見がありましたら何でもお書きください

- ・2チームのうち、一方のチームは包括事務所のソフトウェアが使えないので、包括事務所勤務日の業務量が増えている。
- ・電車通勤者2名がマイカー通勤に変更
- ・域内でコロナ発症された時の情報収集
- ・消毒用アルコールの不足(訪問時用)
- ・利用者、地域住民(高齢者)の身体レベルの低下
- ・3密を避けるため、出勤者の人数を減らしているが、緊急小口資金等の問い合わせ、コロナに関連した給付管理の方法、プラン等についての問い合わせ等が多い。